

S I D R

滋賀県感染症情報

SHIGA Infectious Diseases Report

《週報》

第 8 巻第 28 号

第 28 週(7月7日～7月13日)

発行年月日:平成20年(2008年)7月17日

発行:滋賀県衛生科学センター内
滋賀県感染症情報センター

電話 077-537-7438 FAX 077-537-5548

今週の感染症発生動向

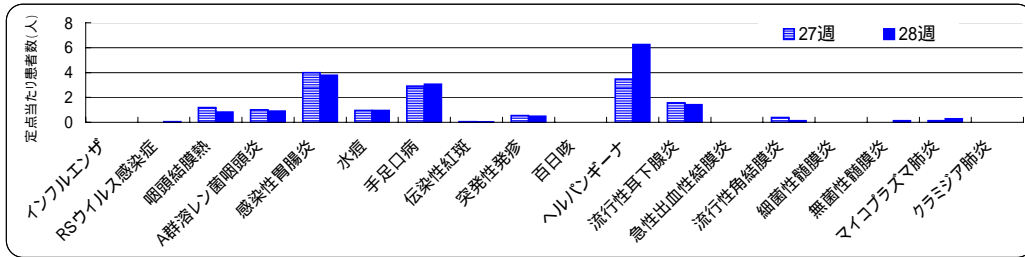
**県内における麻しんは22週以降連続して発生
手足口病およびヘルパンギーナの発生は増加傾向**

定点把握の対象となる五類感染症の発生状況は、前週の報告数よりかなり多くなっています。今週増加した疾患は手足口病、ヘルパンギーナ等で、減少した疾患はA群溶レン菌咽頭炎、感染性胃腸炎、水痘等です(詳細については、疾病別定点当たり患者数のグラフ参照)。

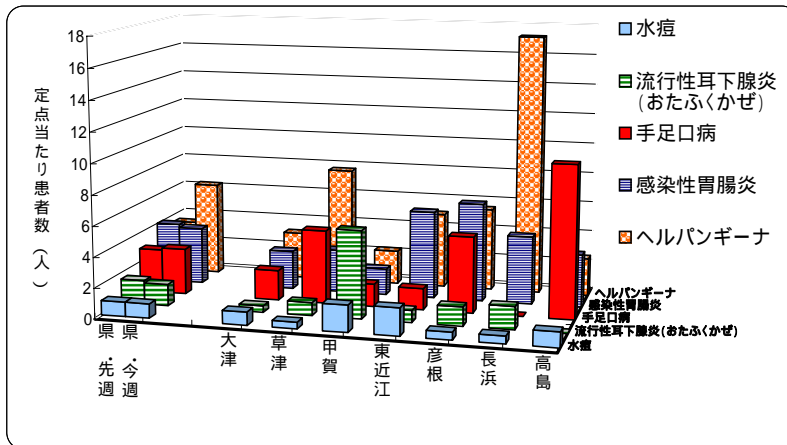
「感染症発生動向調査に基づく感染症の警報・注意報システム」による保健所管内別の警報発生状況は今週の発生状況に示すとおりですが、咽頭結膜熱(プール熱)、A群溶レン菌咽頭炎、手足口病、ヘルパンギーナ、流行性耳下腺炎で警報発生基準値を超えている保健所があります。

全数把握対象疾患では、二類感染症の結核で11名、四類感染症のA型肝炎で1名、五類感染症の麻しんで7名の届出がありました。

定点把握の対象となる五類感染症の疾患別発生状況(前週との比較、定点当たり患者数)



上位5疾患の発生状況(定点把握対象五類感染症、第28週、定点当たり患者数)

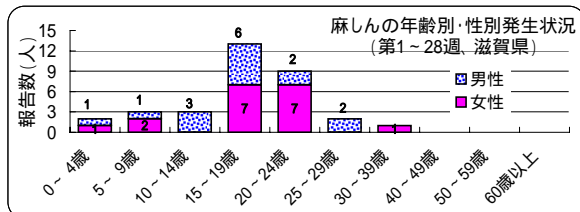
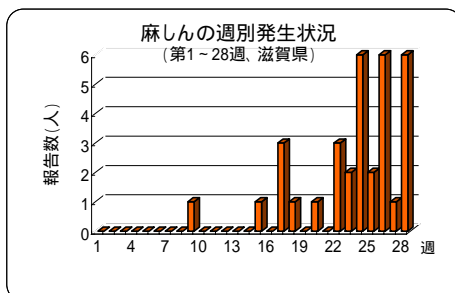


県全体における上位疾患の発生状況についてはグラフに示すとおり、ヘルパンギーナ、感染性胃腸炎、手足口病、流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)、水痘の順に多くなっています。

ヘルパンギーナは草津および長浜で急増しています。また、手足口病は草津、彦根、高島で多くなっています。流行性耳下腺炎は先週に引き続き甲賀で多くなっています。

麻しんの発生状況

(平成20年第1～28週、H19.12.31～H20.7.13)



保健所管内別では、大津9名、東近江9名、草津9名、彦根3名、長浜2名、甲賀1名です。ワクチン接種歴は1回目のみ接種4名、1回目および2回目とも接種なし19名、不明10名です。

1) 全数報告の感染症(一類～五類)

滋賀県内の医療機関において、医師が感染症法で定められている一～四類および五類感染症に該当する患者を診断したとき医師は保健所に届出ることになっています。このことを全数報告といいます。届出により、滋賀県内で発生している感染症法で定められた一～四類および五類感染症を把握することができます。

感染症類型	疾患名	報告数 (28週)	累積報告数		平成19年報告数	
			滋賀 (28週)	全国 (28週)	滋賀	全国 ^{(*)1}
一類感染症	報告なし	0	0	0	0	0
二類感染症	結核	11	149	13,601	178	20,151
三類感染症	細菌性赤痢	0	0	145	^{(*)2} 2	450
	腸管出血性大腸菌感染症	0	10	1,250	55	4,586
	パラチフス	0	0	18	1	22
四類感染症	E型肝炎	0	0	28	1	54
	A型肝炎	1	3	97	1	154
	デング熱	0	1	33	1	89
	マラリア	0	1	21	1	52
	レジオネラ症	0	3	430	8	655
五類感染症	アメーバ赤痢	0	5	442	15	781
	ウイルス性肝炎	0	3	120	2	231
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	83	4	148
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	1	68	1	96
	後天性免疫不全症候群	0	7	761	9	1,449
	ジアルジア症	0	1	41	1	56
	梅毒	0	1	432	2	714
	破傷風	0	2	53	0	88
	急性脳炎	0	0	103	2	216
	風しん ^{(*)3}	0	1	242	-	-
	麻しん ^{(*)3}	7	33	10,232	-	-

* 1: 平成19年の全国報告数は、平成19年に滋賀県で報告された疾患を対象としています。

* 2: 検疫法第26条の3に基づく検疫所長から滋賀県知事への通知分1件を含み増す。

* 3: 平成20年1月1日から全数把握対象疾患に変更。 - ; 定点把握対象疾患のため、全数報告数は未集計

全国における全数報告感染症の発生状況 - 第28週(7/7~7/13) -

一類感染症: 報告なし	四類感染症: マラリア	1例	五類感染症: 後天性免疫不全症候群	14例	
二類感染症: 結核	324例	つつが虫病	1例	クロイツフェルト・ヤコブ病	5例
三類感染症: 細菌性赤痢	9例	日本紅斑熱	2例	劇症型溶血性	
コレラ	1例	マラリア	1例	レンサ球菌感染症	1例
腸管出血性		レジオネラ症	16例	バンコマイシン耐性	
大腸菌感染症	102例	五類感染症: アメーバ赤痢	3例	腸球菌感染症	3例
四類感染症: E型肝炎	1例	梅毒	12例	ウイルス性肝炎	4例
A型肝炎	4例	ジアルジア症	1例	風しん	4例
エキノコックス症	1例	破傷風	2例	麻しん	149例

2) 定点把握の対象となる五類感染症

感染症発生動向調査事業に係る報告のために、滋賀県が指定した「指定届出機関」を定点医療機関(定点)といい、その定点から報告される感染症です。また、定点当たり患者数とは、一週間を単位として一カ所の定点から何人の患者が報告されているかを示したものです(患者報告数/定点医療機関数)。

例えば、一つの疾患(インフルエンザ等)について、一週間に53カ所の定点*から総数53人の報告があれば、定点当たり患者数は1.00となります。*疾患により定点数は異なります。

(1) 疾病別・週別発生状況(平成20年第23~28週、6/2~7/13)

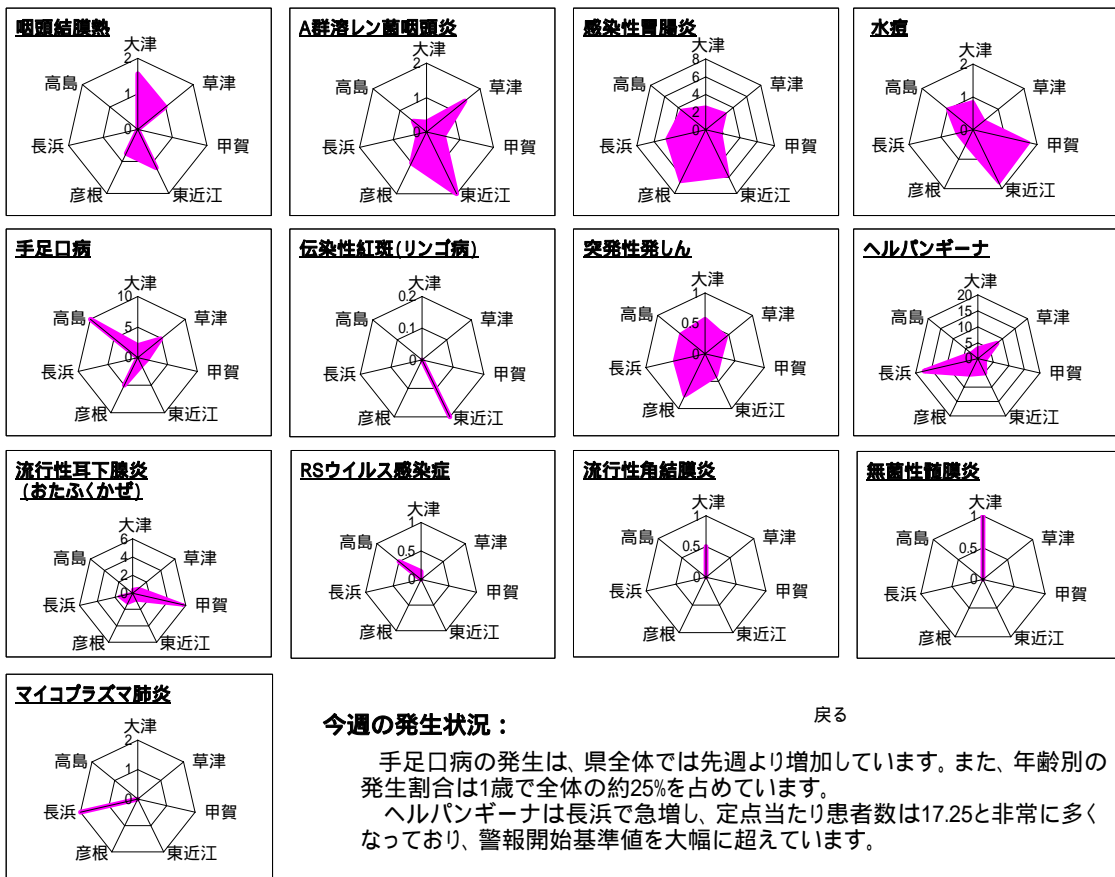
疾患名	定点当たり患者数 (前週より増加 前週と同じ 前週より減少)						
	23週	24週	25週	26週	27週	28週	週
	(6/2~)	(6/9~)	(6/16~)	(6/23~)	(6/30~)	(7/7~)	24 25 26 27 28
インフルエンザ	0	0.02	0	0	0	0	
RSウイルス感染症	0	0	0	0	0	0.06	
咽頭結膜熱(プール熱)	0.94	1.03	1.09	0.70	1.18	0.82	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2.36	2.15	1.76	1.76	1.00	0.91	
感染性胃腸炎	8.12	6.36	5.76	5.06	4.00	3.79	
水痘	1.64	1.94	2.15	1.36	0.94	0.94	
手足口病	0.67	1.06	1.15	1.88	2.91	3.06	
伝染性紅斑(リンゴ病)	0	0.03	0.09	0.03	0.06	0.03	
突発性発しん	0.33	0.36	0.67	0.97	0.55	0.48	
百日咳	0.06	0	0	0	0	0	
ヘルパンギーナ	0.30	0.97	1.58	2.09	3.48	6.24	
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	1.03	0.94	1.15	1.61	1.58	1.42	
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	
流行性角結膜炎	0.25	0.50	0.13	0.25	0.38	0.13	
細菌性髄膜炎	0	0	0.14	0	0	0	
無菌性髄膜炎	0.14	0	0	0.14	0	0.14	
マイコプラズマ肺炎	0	0	0	0	0.14	0.29	
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0	

(2)疾病別・保健所管内別発生状況(第28週、7/7～7/13)

疾患名	定点当たり患者数(県・保健所管内別)								疾患別発生状況(県全体)
	県	大津	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島	
インフルエンザ	0	0	0	0	0	0	0	0	
RSウイルス感染症	0.06	0.14	0	0	0	0	0	0.50	
咽頭結膜熱(プール熱)	0.82	1.57	1.00	0	1.20	0.75	0	0	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.91	0.29	1.43	0.50	2.00	1.00	0.25	0.50	
感染性胃腸炎	3.79	2.57	2.86	1.75	5.80	6.50	4.50	3.50	
水痘	0.94	0.86	0.43	1.75	1.80	0.50	0.50	1.00	
手足口病	3.06	2.00	4.86	1.50	1.40	5.00	0	10.00	
伝染性紅斑(リンゴ病)	0.03	0	0	0	0.20	0	0	0	
突発性発しん	0.48	0.57	0.43	0.25	0.40	0.75	0.50	0.50	
百日咳	0	0	0	0	0	0	0	0	
ヘルパンギーナ	6.24	3.14	7.71	2.25	5.00	5.50	17.25	2.50	
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	1.42	0.43	0.86	5.75	0.80	1.25	1.50	0	
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
流行性角結膜炎	0.13	0.50	0	0	0	0	0	0	
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
無菌性髄膜炎	0.14	1.00	0	0	0	0	0	0	
マイコプラズマ肺炎	0.29	0	0	0	0	0	0	2.00	
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0	

■ は定点当たり患者数が先週より増加 ■ は警報発生中 ■ は注意報発生中

疾患別・保健所管内別発生状況(定点当たり患者数)



今週の発生状況： 戻る
 手足口病の発生は、県全体では先週より増加しています。また、年齢別の発生割合は1歳で全体の約25%を占めています。
 ヘルパンギーナは長浜で急増し、定点当たり患者数は17.25と非常に多くなっており、警報開始基準値を大幅に超えています。

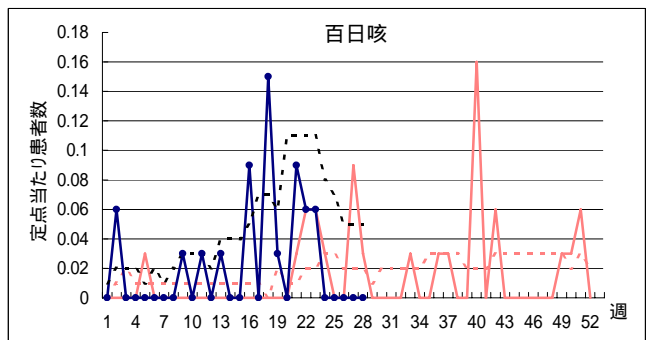
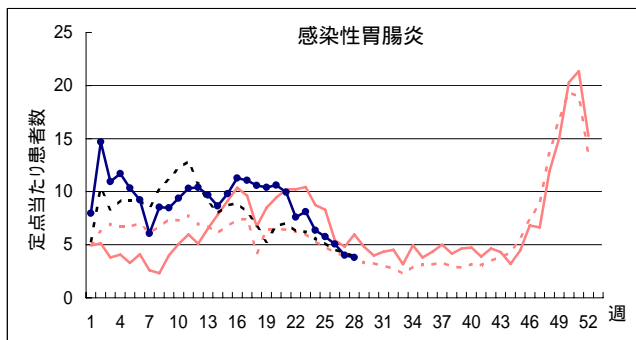
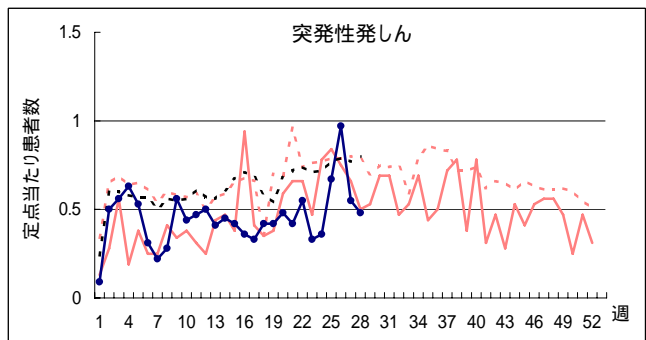
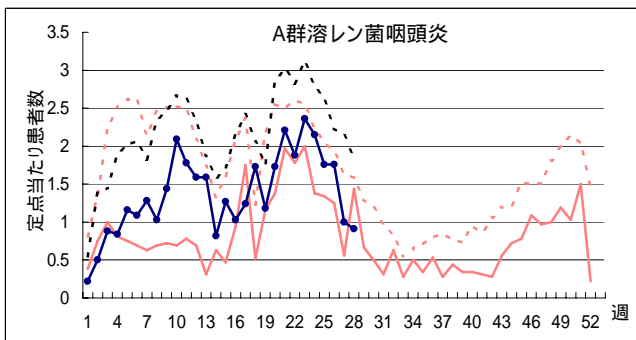
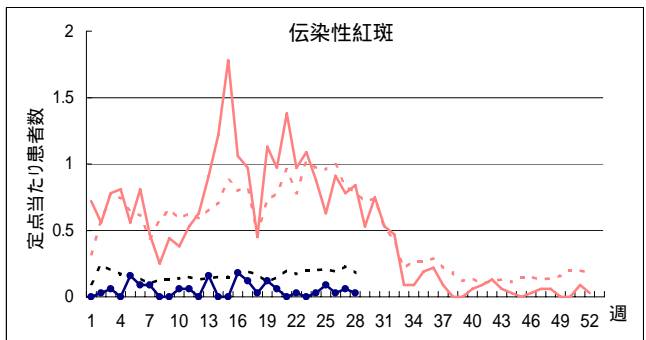
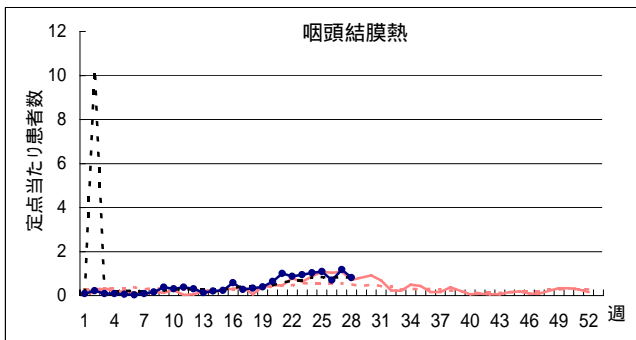
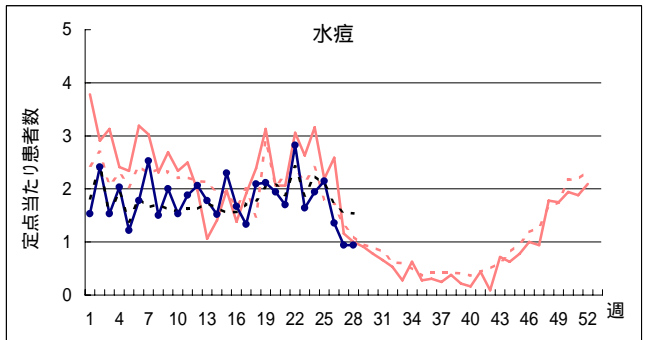
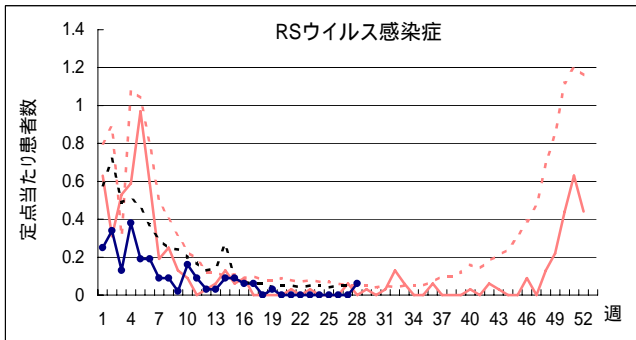
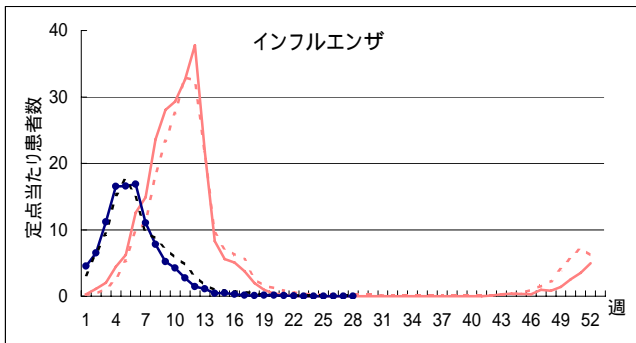
滋賀県における保健所管内別警報発生状況(平成20年第28週)

疾患名	県	保健所管内別							警報開始基準値	警報終息基準値	注意報発生基準値
		大津	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島			
咽頭結膜熱(プール熱)	0.82	1.57	1.00	0	1.20	0.75	0	0	2.00	0.10	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.91	0.29	1.43	0.50	2.00	1.00	0.25	0.50	4.00	2.00	
手足口病	3.06	2.00	4.86	1.50	1.40	5.00	0	10.00	5.00	2.00	
ヘルパンギーナ	6.24	3.14	7.71	2.25	5.00	5.50	17.25	2.50	6.00	2.00	
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	1.42	0.43	0.86	5.75	0.80	1.25	1.50	0	6.00	2.00	3.00

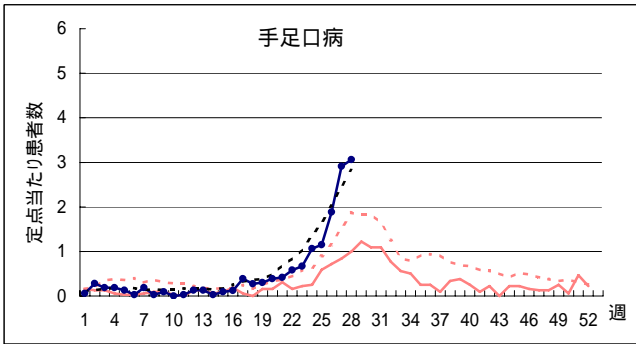
* 基準値はすべて定点当たり患者数(人)です。また、注意報の数字が入っていないものは、注意報の対象外という意味です。
■ : 警報開始基準値または警報終息基準値を超えています。

ヘルパンギーナは草津で、手足口病は彦根で今週新たに警報開始基準値を超えています。また、高島の頭結膜熱の定点当たり患者数は、4週間ぶりに警報終息基準値未満となっています。
流行発生警報(警報)：
 流行発生警報という表現により大きな流行が発生した、または発生している可能性があるという情報を提供しています。

疾病別定点当たり患者数(平成20年第28週、H19.12.31~H20.7.13)



疾病別定点当たり患者数(平成20年第28週、H19.12.31～H20.7.13)



H19
 〔 滋賀 ————
 全国
 H20
 〔 滋賀 ●●●●●●
 全国

